



## 令和5年度 学校評価アンケートの集計結果

保護者の皆様へ

12月に学校評価アンケートを実施したところ、多くの保護者の皆様にご協力いただきありがとうございました。本年度は新型コロナウイルスの5類移行を受けて、「after コロナ」の時代を見据えた各種行事の運営方法の工夫、見直しを試みました。年度当初には、子どもたちが新しい学年、学級での生活にいち早く慣れることを重視し、ゆとりある学校生活の実現を目指しました。5月には各学年で「ジブリパーク」へのバス遠足を実施し、良好な人間関係の構築に努めました。また、これらに伴い、運動会を10月末に実施することで、熱中症リスクが低下するだけでなく、テントによって視界を妨げられることなく、子どもたちのがんばりを見ていただくことができました。いずれの行事も参観者の人数制限を設けることなく実施することができ、活気ある学校が戻ってきたことを実感しました。

さて、今年度いただいた評価の結果を真摯に受け止め、学校力の向上、一人一人の教師の力量アップ、家庭や地域との連携を高めていく努力をしております。

以下、A＝「よくあてはまる」と、B＝「ややあてはまる」を合わせた割合が、85%を下回る項目の中で、特に改善が必要と考えている点について述べます。

### 5 お子さんは、「授業がわかりやすい」と言っていますか。 ⇒ 84% (±0ポイント)

昨年度は前年比+4ポイントと改善の評価をいただきましたが、今年度は±0ポイントの評価をいただきました。このことを真摯に受け止め、改善を図っていかねばならないと考えます。細川小学校では、タブレット端末等のICT機器を活用した主体的な学びと、チーム内で自由に意見交換をしながら協働的に学ぶ「チーム学習」に取り組んでおり、一人一人を大切に授業の具現化を目指しています。今後も教材や教具、指導方法の工夫をし、「分かる授業」に努めてきます。

### 3 お子さんは、進んで挨拶をしていますか。 ⇒ 80% (+8ポイント)

昨年度来の反省を踏まえ、子供たちには日頃から挨拶を奨励し、教職員が率先して取り組んできました。代表委員会でも「あいさつ運動」を実施し、「明るく、気持ちのよい挨拶」を呼びかけ、子供たちの挨拶の活性化を図ってきました。今年度のアンケートでは保護者の皆様から+8ポイントの評価をいただきました。子供たちも挨拶ができるようになってきたと感じており、子供たち自身の評価も+6ポイントとなっています。細川小学校で「明るく、気持ちのよい挨拶」が日常化するには、引き続き子供たちの意識を高めていくことが大切だと考えます。そのためには私たち教職員が、今以上に積極的に明るく元気に挨拶を行って範を示し、活気ある雰囲気作りに努めていきます。

## 令和5年度 生活についてのアンケートの集計結果

細川っ子のみなさんへ

今年度は「ジブリパーク」へのバス遠足をはじめ、多くの行事を行うことができました。「運動会」や、「音楽発表会」など、それぞれの場面で一人一人が精一杯がんばる姿を披露することができ、大変立派だったと思います。

ここで昨年12月に行ったアンケートの結果を紹介し、次年度への見直しをみなさんと一緒に進めていこうと考えています。先生たちも改善すべきところを改善し、細川っ子がますますたくましく、やさしい子に育つように努力を重ねていきます。みなさんも学校をよくするための声をたくさん聞かせてください。一緒に力を合わせてがんばりましょう。以下、同様です。

### 6 授業では、すすんで自分の意見や感想を発表している。 ⇒ 70% (+1ポイント)

「チーム学習が好き」という細川っ子はたくさんいますし、チーム内では、自分の意見を伝えたり、分からないことを質問したりすることができています。ただ、学級全体の場で自分の意見や感想を発表することに對して、やや消極的であるとも感じます。チーム学習を通して自分の考えをもてるようになり、「授業は分かりやすく、楽しい」と感じている子はたくさんいます(87%)ので、自信をもって自分の意見を積極的に伝え、先生たちと一緒によりよい授業をしていきましょう。

### 8 本を読んでいる。 ⇒ 76% (+2ポイント)

中放課、昼放課に図書室が解放され、図書室の本を借りて読む機会が増えました。更に落ち着いて読書に取り組めるよう、読書週間の取組の充実や読書の時間の確保に努めていきます。